

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 27 年 7 月 3 日)

学者の説明を見ますと、三十九・四十の章は続けている場合もあるし、分けている場合もあります。感覚的に繋がっていますから、繋げて説明をしても良いです。

【三九】子曰く、賢者は世を辟く。其の次は地を辟く。其の次は色を辟く。其の次は言を辟く。

孔子がいうには、賢い人間は世が乱れたら世の中から身を隠す。「避く」は身を隠すということです。完全に引退はしていないけれども、世の中には現れない。次に賢い、ちょっと賢いというぐらいでしょうか。その場合は、乱れた国から他の土地へ行く。これは孔子もやりました。その次の賢者というのも変ですが、その次に賢い人は顔色を見るということですから、自分に対する態度、言葉使いを見ておかしいと思ったら避ける。その次は意見が世に通らない、まわりから叩かれるようだったら避ける。

【四〇】子曰く、作者七人。

言葉通りにいけば、普通は引退する。引退した人が誰かは触れていませんけれど、ここは物議をかもしているところです。

人によって違いますが、「作者」を引退した人間と捉えれば、安井息軒が状況をみて起つものが七名。起つという意味で「避く」を捉える。それからこれを為すものと読んでいます。

荻生徂徠は聖人と捉えています。聖人は、堯、舜、禹、湯、文、周、公。古代中国で堯・舜・禹は国を治めた皇帝であり、聖人君子といわれた人達です。

中国という国は、革命を起こして前の王朝を倒し、自分が次の王朝を作ります。前王朝の文物は焼いてしまい、皆殺しにします。そして財宝だけは取っていく。

堯・舜・禹は王朝を譲っていきましたので素晴らしい。それを荻生徂徠が聖人として読んだという説です。

「為す」は、その当時に言ったものが残ったのだらうと思いますが、まるで今は通じません。堯・舜・禹と他の人たちとを比べると段違いにレベルが違います。何かを為した人、

ことを為した人です。

素直なのは、「作者七人は誰だか分からない」ということが一番多い説です。

世の中おかしくなったので、身を隠した人が七名いると孔子は言っている。でも孔子は明らかにしていませから、まわりが勝手に推測しているだけです。